



ひよこ組だより

10月号



まだまだ暑い日が続きますが、木々の葉の色も変わりはじめ、少しずつ秋の訪れを感じられるようになってきましたね。気温が高く、なかなか戸外に出て遊ぶことができない日が続いていましたが、水遊びなどではバケツに入った水をちゅぷちゅぷさせたり、汗をいっぱいかいた時には沐浴をしたりと快適に過ごしました。最初は沐浴など怖がる子がいましたが、慣れてくると気持ちよさに気付いたようで楽しんでいましたよ♪今後は、戸外に出られる日は落ち葉やどんぐりなど、秋ならではの自然と触れ合いながら過ごしていきたいと思います。また、季節の変わり目や、昼夜の気温差が激しい季節でもあるので、体調管理なども気を付けながら元気に過ごせるように見守っていききたいと思います！

今月の目標

- ・散歩や園庭遊びを通して秋の自然に触れながら様々な言葉を知る。
- ・気温や活動に応じて衣服の調整をすることで快適に過ごす。



～ひよこ組の様子～

歩行やハイハイができるようになり、行動範囲がかなり広がってきたひよこ組！すべり台の階段を上ったり、つかまり立ちをしたりと足腰もかなり強くなってきました。また、友達への意識も出てきて、じーっと見たり、ちょんちょんと触れたり、顔をのぞき込んだりと関わりを持つようとする姿も見られるようになってきましたよ。高月齢児は玩具の取り合いなども見られるように！だんだんと自分の意思を表すのが上手になってきましたね♪

戸外ではブービーカーが人気で、タイヤを観察したり、乗って押しってもらうことを楽しんだりしています。低月齢児も以前までは散歩車に乗ってゆらゆら～が多かったのが、最近では地面に座って、ハイハイで進んだり、ボールに触れたりと戸外でも活発に遊ぶようになってきました！涼しくなったら園庭だけでなく、散歩車に乗って公園に行ったりして自然と関われるような活動もしていきたいと思います♪



一口の量を知るために…

食べる事が大好きで食欲が旺盛なひよこ組。自分で食べられる喜びもあり、次から次へと口にご飯を運んで、まだ口の中に入っているのにまた入れて…お口がぱんぱんに！という様子が園でもご家庭でもあるかと思います。まだ子ども達は一口の量を自分で考えて調節することが難しいため、口に詰め込みすぎでのどに詰まったり、よく噛まないで飲み込む癖がついてしまったり。安全に楽しく食事をするためには大人が援助してあげる必要があります。その為、現在園では、“ひとさじずつ”という取り組みをしています。やり方としては、ご飯が盛り付けられているプレートとは別のお皿を用意し、そのお皿を子ども達に渡します。「何食べたい？」と子ども達に聞き、指さしたものをスプーンで一口の量をすくってあげ、お皿にうつして渡す、というものです。自分でスプーンを使って食べようとする意欲が育つ、ゆっくりよく噛んで食べる、一口の量を知る、など様々なことを学んでいけるように援助しています。ひとさじずつなのでゆっくりの食事になりますが、その中でも「かみかみ」「おいしいね」などの言葉のやり取りも充実していきます♪時間が掛かるので難しい場合もあるかと思いますが、時間に余裕がある時はぜひ試してみてくださいね！